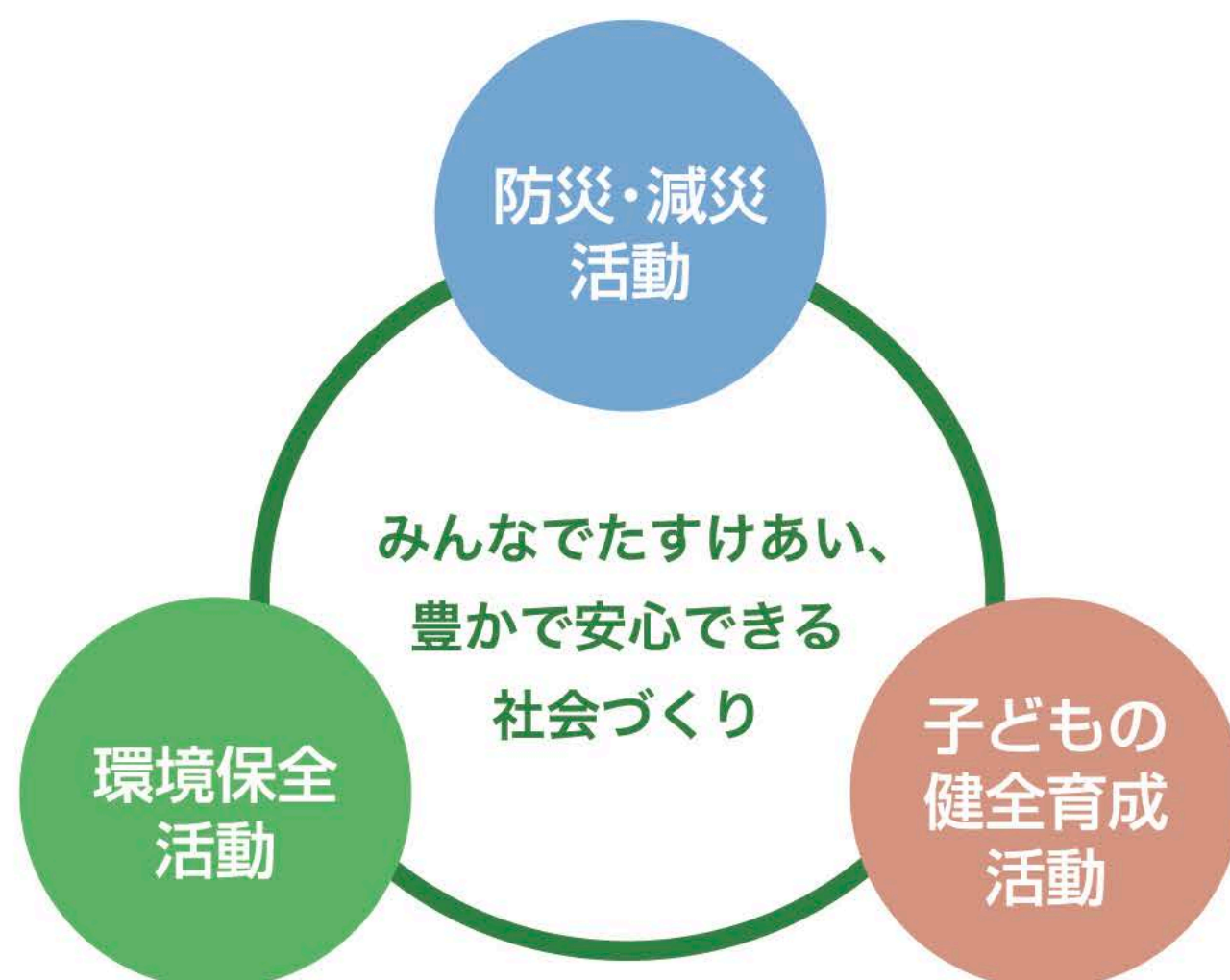


2018年 (2014年度 - 2017年度) 社会貢献活動レポート



全労済の社会貢献活動

全労済は、「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」という理念にもとづき、積極的に地域社会に貢献する活動を展開しています。豊かで安心できる社会が形成され継続するために、「防災・減災」「環境保全」「子どもの健全育成」の活動を重点分野と位置づけ、さまざまな社会貢献活動に取り組んでいます。



保障のことなら

全労済

全国労働者共済生活協同組合連合会

「お役立ち発想」と「共創活動」による 全労済らしい社会貢献活動を展開していきます。

日頃は、全労済の運動と事業の発展に向けてご支援をいただくとともに、全労済の社会貢献活動へのご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

まず、去る6月18日に発生した「大阪府北部を震源とする地震」、7月上旬に西日本を中心に被害をもたらした「平成30年7月豪雨」により、お亡くなりになった方々に哀悼の意を表しますとともに、被災されたすべての皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

この間、全労済においては、被災された組合員とそのご家族の一日も早い生活再建と被災地の復旧・復興に向け、迅速な共済金の支払いを最優先課題として総力を挙げた取り組みをすすめてきました。引き続き、全労済としての社会的使命を果たしていく所存です。

さて、全労済は、2014年度から2017年度までの4年間を対象とした中期経営政策『Zetwork-60』の中で、「防災・減災」「環境保全」「子どもの健全育成」の3つを重点分野とした社会貢献活動の取り組みを推進してきました。

とりわけ、東日本大震災の被災地においては、緑の回復と子どもたちの健全育成への取り組みとしての「子どもたちの森づくり支援活動」や「子どもたちに絵本を贈る活動」などの開催、また、熊本地震の被災地においては、「文化フェスティバル」「きずな公演」の開催や仮設住宅での花の植栽活動などを通じて、被災地の皆さまに少しでも笑顔をお届けできるような取り組みを展開してきました。

加えて、全国の「子育てイベント」に出展し、「ぼうさいえほんの読み聞かせ会」や「ぼうさいクイズ」を実施することにより、親子で防災・減災に対する意識を深めていただきました。



一方、本年6月より、2018年度から2021年度までの4年間を対象とする中期経営政策『New-Zetwork』がスタートしました。創立60周年という節目にある今、あらためて原点に立ち返るとともに、「持続可能な社会づくり・セーフティネットづくり」をテーマとして掲げている「SDGs」の17のゴールも視野に入れつつ、「お役立ち発想」と「共創活動」による全労済らしい社会貢献活動を、文字通り“組合員の皆さんと共に創りあげていきたい”と考えています。

これからも、引き続きのご支援・ご協力をお願い申し上げます。

2018年7月

全 労 済
代表理事 理事長

中世古 廣司

全労済は2014年度から2017年度まで「防災・減災」「環境保全」「子どもの健全育成」活動に加え、被災地の復興支援に取り組みました。活動の一部をご報告します。



被災地支援活動



子どもの健全育成活動



環境保全活動



防災・減災活動

2014年度の ポイント

東日本大震災を風化させない活動として、「子どもたちの森づくり支援活動」を行いました。この活動では、緑を回復すること、子どもたちの緑を大切にする「こころ」を育てることを目的として、植樹のための木々の提供や活動の支援を行いました。



2014年7月
保育園よみきかせ（東京）

保育園にて「メルヘン絵本」のよみきかせを行いました。



2014年7月
子育て応援団すこやか（秋田）

子どもたちが風船に模様を描いてアートを楽しみました。



2014年11月
被災地の子どもたちの
森づくり支援活動（岩手）

東日本大震災被災地の小学校で仲間とともに木を植えました。



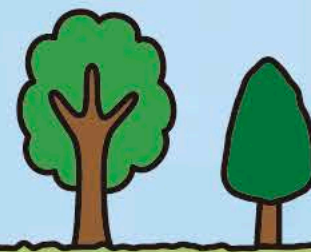
2015年2月
きずな公演（岩手）

楽器の生演奏が行われ、東日本大震災被災地の親子に笑顔を届けました。



2015年3月
被災地の子どもたちの
森づくり支援活動（福島）

子どもたちの森づくりを支援しました。



2015年度の ポイント

被災地の子どもたちそのご家族のために、ミュージカル仕立ての公演や楽団による演奏会、影絵公演などの「きずな公演」を開催しました。
また、「きずなコンサート」を開催し、福島県の高校生による演奏会や出演者全員と来場者による合唱などを行いました。このコンサートで集まった募金は「公益社団法人 国土緑化推進機構」を通じて被災地の緑化や防災林等の整備に充てられました。



2015年11月
子育て応援団すこやか（福井）

「ぼうさいクイズ」を実施し多くの親子連れに地震時の対応について学んでももらいました。



2016年3月
きずなコンサート（東京）

福島県の高校生による演奏が行われ、最後は東日本大震災チャリティーソング「花は咲く」を合唱しました。



2016年1月
きずな公演（宮城）

被災地の親子連れにバルーンパフォーマンスと楽器演奏が行われ、会場はたくさんの笑顔にあふれました。

2016年度の ポイント

被災地を支援する取り組みとして、「子どもたちに絵本を贈る活動」、「全労済文化フェスティバル」、「花運動」を開催しました。また、防災・減災活動として、全国68ヶ所で「ぼうさいカフェ」、防災・減災イベントを実施しました。



2016年12月
シンポジウム「東日本大震災から6年
子どもたちは今」を開催（宮城）

東日本大震災から5年経過し、現状の課題、今後の支援について話し合いました。





2017年1月
全労済文化フェスティバル（熊本）

熊本地震復興支援がスタート。親子を招待してミュージカル「オズの魔法使い」を上演し、会場全体が感動に包まれました。



2017年3月
子どもたちに
絵本を贈る活動（福島）

職員から集めた絵本を被災地のNPO法人をつうじて子どもたちにプレゼントしました。

2017年度の ポイント

「防災・減災」「子どもの健全育成」活動の一環として、「子育てイベント」への出展や「ぼうさいカフェ」の開催、幼稚園・保育園での「よみきかせ会」を実施しました。クイズ形式で楽しく防災を学べる「ぼうさいえほん」は、大変好評でした。



2017年4月
花運動（熊本）

被災地の方々と熊本地震復興支援で花壇をつくり、苗木を植え仮設住宅に彩りをつくりました。



2017年6月
被災地の子どもたちの
森づくり支援活動（岩手）

仮設住宅が撤去したあとの校庭に木を植えました。



2017年7月
子育て応援団すこやか（高知）

「ぼうさいえほん」の読み聞かせをおこないました。



2017年7月
防災ゲームDay 2017
in そなエリア東京（東京）

カードゲーム・すごろくを使って、親子で防災知識を学びました。



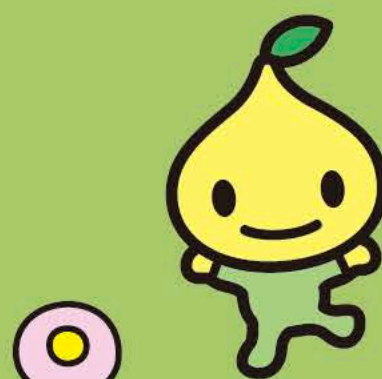
2018年4月
ぼうさいカフェ 2018年
in 高松（香川）

親子でAEDを使った訓練に参加いただきました。



2018年5月
子育て応援団すこやか（広島）

絵本の「よみきかせ会」のほかに「ぼうさいクイズ」のコーナーを設け、地震への備えについて理解を深めました。



~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~



Zetwork-60 から New-Zetwork へ



セーフティーネットづくりに向けて地域のさまざまな課題に取り組めます。

「持続可能な社会づくり・セーフティーネットづくり」を活動のテーマとし、組合員や協力団体、他団体との共創により多様な安心を生み出していきます。SDGsで掲げられた17のゴールも視野に入れながら、全労済としてできること、取り組むべきことを実行していきます。

SDGs（エス・ディー・ジーズ）とは？

SDGsは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2016年から2030年までの国際目標。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。

協同組合の取り組みはSDGsの「誰一人取り残さない」という原則を体現するものであり、協同組合の積極的な取り組みが期待されています。

全国の事業所で展開された 2017年度の主な社会貢献活動を紹介します。

●京都推進本部

親子劇場を2回開催し、1,600名が参加 その参加費全額をあしなが育英会に寄付

●大阪推進本部

「花とみどりのプロジェクト」への参加を募集し、6校の学校に花の植栽を実施

●岡山推進本部

「スペシャルオリンピックス岡山ボウリング大会」運営ボランティアに参加

●香川推進本部

「ぼうさいカフェ2018inサンポート高松」を開催 3,000名が参加

●高知推進本部

「子育て応援団すこやか2017(高知)」に出展 読み聞かせコーナーに1,000名が参加

●福岡推進本部

東日本大震災被災地の子どもたちを海へ招いて地元の子どもたちと交流する「暮らしと遊びの夏休み」を実施 26名参加

●熊本推進本部

熊本地震復興支援活動「食育」活動として親子参加型味噌作りを実施



●大分推進本部

7箇所の児童福祉施設等へ書籍を寄贈

●中部統括本部

「第5回ママの文化祭」に出展し、交通安全グッズやぼうさいえほんを配布 全労済特設ブースに280名が来場



●長野推進本部

協力団体と地区協力員の持ちよった未使用タオル1,000本を福祉協議会に寄贈

●静岡推進本部

イベント等の参加者より未使用タオル2,000本を県内の福祉施設へ寄贈



●愛知推進本部

AICHI「脱ワースト」活動の一環として、安全運転研修会を開催し、159名の協力団体代表者が参加

●岐阜推進本部

児童養護施設「日本児童育成園」の利用者と地域の親子120名を招待して、観劇会を開催

●三重推進本部

「ぼうさいカフェ」を開催

●奈良推進本部

「こくみん共済カップ第4回奈良県少年サッカー小学3年生大会」を開催 660名が参加

●宮城推進本部

海岸防災林再生活動を実施



●秋田推進本部

「2017 AKITA防災キャンプフェス」に参加

●新潟推進本部

お母さん同士、子ども同士のコミュニケーションの場とお母さんの息抜きの場として「おしゃべりひろば」を開催



●茨城推進本部

「地区共済会加入者のつどい」に参加した加入者の方から、使用済みプリペイドカード・書損はがき等を回収し、「茨城県国際交流協会」に寄贈 来場者3,000名

●東京推進本部

使用済切手と書損はがき900枚を収集し、「世界の妊産婦と女性を守る」公益財団法人ジョイセフに寄贈

全労済地域貢献助成事業

全労済では、1992年より環境問題などに取り組む団体を対象に助成事業を継続しておこなっています。2017年度は、これまでに助成を受けられた団体の皆さまを対象に、情報交換や団体間のネットワークづくりを目的とした座談会を開催しました。

環境保全活動

全労済では、毎年の決算状況および「エコ専用 全労済住まいる共済」の契約状況に応じて、環境活動団体への寄付をしています。2017年度は「公益社団法人 国土緑化推進機構」、「公益財団法人 日本環境協会」、「公益財団法人 日本自然保護協会」、「公益社団法人 日本ナショナル・トラスト協会」の4団体へ総額1,800万円を寄付しました。

社会福祉団体への寄付

1981年より「障がい者」「高齢者」「災害対策」を対象とした支援活動をおこなっている社会福祉法人などの団体を継続して支援しています。2017年度も外部有識者等による審査委員会にて以下の24団体を選定し助成金を交付しました。

No	団体名	事業名
1	学校法人 日本社会事業大学	高齢者・障がい者の意思決定支援の方策・啓発事業
2	一般社団法人 日本福祉用具供給協会	ICF（国際生活機能分類）の概念を活用した福祉用具サービスの事例集 作成事業
3	一般社団法人 全国福祉用具専門相談員協会	福祉用具専門相談員向けのリハビリ専門用語ミニ解説集の制作および質の向上に関する事業
4	一般財団法人 長寿社会開発センター	「地域での活動と健康に関する調査」の分析研究と報告会の開催
5	一般社団法人 日本介護支援専門員協会	人生の最終段階における意思決定支援を図るために、国民に対する情報提供・普及啓発の在り方について検討することを目的に市民フォーラムを開催
6	公益社団法人 虹の会	老人福祉施設入所者等レクリエーション活動支援事業
7	公益財団法人 日本障害者リハビリテーション協会	障がい当事者が参加する地域防災の事例研究とシンポジウム 事業
8	社会福祉法人 日本盲人職能開発センター	ロービジョンの一般就労をテーマとした全国セミナーの開催事業
9	社会福祉法人 日本点字図書館	視覚障害者の情報収集支援事業
10	公益財団法人 テクノエイド協会	障がい者・高齢者の安全・安心な移乗に関する情報提供事業
11	一般財団法人 全日本ろうあ連盟	国連障害者権利条約に関する調査事業
12	社会福祉法人 全国盲ろう者協会	「全国盲ろう者大会」の開催
13	社会福祉法人 日本身体障害者団体連合会	地域社会と障がい者団体の関わりと障がい者理解にかかる啓発促進
14	社会福祉法人 日本盲人会連合	視覚障がい当事者の運動の歴史「日本盲人会連合70年史」作成事業
15	社会福祉法人 日本盲人福祉委員会	日本の視覚障がい者の現状に関する情報提供事業
16	公益財団法人 日本障がい者スポーツ協会	障がい者スポーツの普及拡大および競技団体の基盤強化事業
17	社会福祉法人 日本介助犬協会	身体障がい者の自立と社会参加のための介助犬普及啓発活動～重度肢体不自由者が介助犬を伴って交通機関等を利用する事例集作り～
18	特定非営利活動法人 日本セルフセンター	障がい者就労支援事業所職員のための営業基礎研修
19	社会福祉法人 視覚障害者支援総合センター	東京メトロバリアフリー・視覚障がい者への情報提供事業
20	公益財団法人 スペシャルオリンピックス日本	2018年第7回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・愛知 インクルージョン・レガシー事業
21	特定非営利活動法人 全国聴覚障害者情報提供施設協議会	情報提供施設におけるICTを活用した聴覚障がい者への情報提供についての調査・研究事業
22	公益社団法人 全国脊髄損傷者連合会	脊髄損傷患者の社会参加を支援するシンポジウムの開催
23	NPO法人 日本せきずい基金	Walk Again 2018 神経再生シンポジウム事業
24	公益財団法人 日本チャリティ協会	パラアート（障がい者アート）国際交流活動事業

保障のことなら [お問い合わせ先]



全労済経営企画部 〒151-8571 東京都渋谷区代々木2-12-10
TEL：03-3299-0161（代） ホームページ <https://www.zenrosai.coop>